

# JIMGAnews

第16号

## 平成25年度第一回理事会・評議員会合同会議及び定時総会開催について

### 平成25年度第一回理事会・評議員会合同会議について

5月22日、東京會館にて平成25年度第一回産業ガス部門理事会・評議員会合同会議を開催しました。豊田会長の「電力問題の進捗状況や主要課題」などに関する挨拶後、議長に選出された豊田会長の進行により、事務局各担当者が事業報告・計画をプロジェクターを使って説明しました。この他に、入会希望事業者審査の件などの議題も全会一致ですべて承認されました。

### 定時総会開催について

6月12日、東京會館にて部門総会・定時総会を開催しました。午前中に会長記者会見を開催し、午後からはシンポジウム、総会前理事会、総会、総会後理事会、懇親会と続き、総会では今年度から運用を開始した表彰制度の表彰式を行いました。

シンポジウムでは約200名の受講者を前に、北代耿士副会長（技術・保安部会長）の挨拶後、「1.充てん工場の地震対策指針 追補（エア・ウォーター(株)柴田展良氏）、2.大震災の教訓と防災対策（エア・ウォーター防災(株)柏原公明氏）、3.在宅酸素濃縮器の発展の歴史・経緯（山陽電子工業(株)櫻井秀行氏）、4.JIMGA e-ラーニング「炭酸ガスの安全な取り扱い」（(株)リキッドガス 塚本 元氏）」の4テーマによる講演が行われました。

部門総会・定時総会では豊田会長の挨拶後、部門総会で各部門の評議員候補が承認され、引き続き行われた定時総会で「事業報告・事業計画、予算・決算」などが全会一致で決議されました。

その後の表彰式では、協会の事業に協力し成果を上げた、産業ガス部門11件、医療ガス部門13件の個人や組織に対して、功労賞として会長から表彰状と記念品が授与されました。表彰理由と受賞者の一覧は2～3頁を参照ください。



総会の模様



表彰受賞者の皆様

懇親会は約270名が出席し、盛会裏に開催されました。豊田会長の挨拶に続き、厚生労働省原医政局長、経済産業省渡邊審議官、高圧ガス保安協会作田会長から来賓の挨拶、間副会長の乾杯の挨拶で始まりまし。和やかに懇親会が進む中、鈴木副会長の中締めによりすべての催しは滞りなく終了しました。尚、各位の挨拶は9月末発行予定の産業ガスレポートで詳しくお伝えする予定です。（広報委員会事務局・和田 彰）

## JIMGA平成25年度功労賞受賞者一覧 <産業ガス部門>

(敬称略)

表彰区分	受賞者名	受賞理由	対象者数
技術功労賞	超低温貯槽WG 代表 濱口 和夫	「ローリー装備の長軸玉形弁ねじはめ輪破損によるLN <sub>2</sub> 噴出事故対策」の作成	5名
業務功労賞	教育・研修WG 代表 塚本 元	全DVD、eラーニングの作成	8名
	保安対策WG 代表 美澤 秀敏	高圧ガスハンドブック改訂版の作成	6名
災害功労賞	充てん技術WG 代表 柴田 展良	充てん工場の地震対策指針及び追補版の作成	14名
	東北地域本部 技術保安部会 代表 鈴木 富雄	「高圧ガス事業者の3.11東日本大震災被災体験事例集」及び「ヒヤリハット事例集」の作成	15名
標準化功労賞	化学品安全WG 代表 平野 正	「GHSに対応した産業ガスの分類・表示MSDSガイドブック」の作成	14名
	IHC対応WG 代表 羽坂 智	「アルシン、ホスフィンの安全な取扱指針」の作成	8名
容器保安功労賞	東海地域本部 鋤柄 喜彦	東海高圧ガス容器管理委員会で平成15年から現在まで高圧ガス容器の保安に関する功績	1名
	四国地域本部 菅 清一	四国高圧ガス容器管理委員会で平成元年から現在まで高圧ガス容器の保安に関する功績	1名
地域活動功労賞	関東地域本部 松谷 厚雄	17年以上関東地域本部の産業ガス部門の協会運営に貢献した	1名
	北陸地域本部 伊勢呂 庄太郎	18年間北陸地域本部の産業ガス部門の協会運営に貢献した	1名

(順不同・敬称略)

技術功労賞		業務功労賞		業務功労賞	
超低温貯槽WG		教育・研修WG		保安対策WG	
濱口和夫	エーテック(株)	塚本 元	(株)リキッドガス	美澤秀敏	岩谷産業(株)
平山晃生	大陽日酸(株)	片村浩一	昭和電工(株)	矢内敏彦	日本エア・リキード(株)
細谷公憲	エア・ウォーター・プラントエンジニアリング(株)	大沼倫晃	エア・ウォーター(株)	久和野 敏明	大陽日酸(株)
		藤岡隆司	高圧ガス工業(株)	大沼倫晃	エア・ウォーター(株)
斉藤寿一	岩谷産業(株)	上島光雄	東京都高圧ガス保安協会	及川行夫	上毛天然瓦斯工業(株)
中村康弘	超低温機器協会	園田 竜	岩谷産業(株)	小川幸士	元 ガス保安検査(株)
災害功労賞		早坂 裕	東邦アセチレン(株)		
充てん技術WG		小川幸士	元 ガス保安検査(株)		
柴田展良	エア・ウォーター(株)	災害功労賞		標準化功労賞	
福田浩二	岩谷瓦斯(株)	東北地域本部技術保安部会		化学品安全WG	
小川光博	大陽日酸(株)	鈴木富雄	大陽日酸(株)	平野 正	東京ガスケミカル(株)
中市寛彦	東邦アセチレン(株)	村上晃也	岩手工業(株)	神谷篤志	元 東京ガスケミカル(株)
吉田智徳	相模アセチレン(株)	玉井義明	太平熔材(株)	矢崎隆一	大陽日酸(株)
加納郁久	大陽日酸(株)	越後啓一	(株)東酸	池田 伸	(株)ジャパンヘリウムセンター
板倉久郎	北酸高圧瓦斯(株)	中村成伸	北日本アセチレン(株)	森山秀樹	岩谷産業(株)
谷屋五郎	宇野酸素(株)	進藤昌一	荘内ガス(株)	桑野晃一	岩谷産業(株)
伊藤芳宣	知多高圧ガス(株)	長岡貢司	山形酸素(株)	進藤高章	日本エア・リキード(株)
笠井勇人	中部エア・ウォーター(株)	佐藤 哲	カガク興商(株)	真子 恵一郎	住友精化(株)
三宅新一	大陽日酸(株)	河原祐路	東邦アセチレン(株)	武内幸祐	エア・ウォーター(株)
立花靖司	土佐酸素(株)	桜井幸和	仙台日酸(株)	安田 匡	日本液炭(株)
古賀義道	福岡酸素(株)	篠原静夫	東北エア・ウォーター(株)	内藤章文	昭和電工(株)
農頭重喜	日本エア・リキード(株)	原田敏兆	日本液炭(株)	渡邊一範	知多炭酸(株)
標準化功労賞		吉田 馨	仙台アセチレン(株)	渡辺勇夫	高千穂化学工業(株)
IHC対応WG		泉田 実	(株)福島共同ガスセンター	菱池通隆	住友精化(株)
羽坂 智	大陽日酸(株)	笠井 健	北良(株)		
大塚利明	元 高千穂化学工業(株)	容器保安功労賞		容器保安功労賞	
多田亮太	高千穂化学工業(株)	東海地域本部		四国地域本部	
西川幸伸	日本エア・リキード(株)	鋤柄喜彦	大日本アガ(株)	菅 清一	菅機械産業(株)
丸子晃司	日本エア・リキード(株)	地域活動功労賞		地域活動功労賞	
仲山一郎	大陽日酸(株)	関東地域本部		北陸地域本部	
石関貞夫	ジャパンファインプロダクツ(株)	松谷厚雄	関東酸素工業(株)	伊勢呂 庄太郎	日本液炭(株)
三澤一朗	住友精化(株)				

## JIMGA平成25年度功労賞受賞者一覧 <医療ガス部門>

(敬称略)

表彰区分	受賞者名	受賞理由	対象者数
業務功労賞	在宅酸素部会(特別部会) 代表 岸田 遼生	永年講習会を運営するほか、事故防止DVDや患者・事業者向け冊子の制作等を通じ患者のQOL向上に貢献している	18名
災害功労賞	エネックスジャパン株式会社	東日本大震災時に、宮城県との防災協定に基づく救援要請に応えるため自らの危険を顧みず救援酸素ボンベの運搬作業を何回も実施し災害時の被害低減等に貢献した	1名
	株式会社田沼酸素商会		1名
	株式会社佐々啓		1名
	北良株式会社	永年協会活動・防災活動、保安講習会開催、災害時協定締結に貢献。大震災時には医療用酸素を無償提供し人命救護に貢献した	1名
標準化功労賞	大村 昭人	JIS T 7101改訂原案作成委員会の委員長として関係機関との調整を行い、医療ガス設備の標準化に貢献した	1名
	医療ガス製造・充てん部会 自主基準検討WG 代表 伊達 恒雄	実質的な国の基準となった自主基準の策定を行い、将来の国際整合化にも寄与することとなった	11名
保安教育功労賞	釘宮 豊城	MGR制度の準備段階からテキスト執筆・監修等に携り、自ら講師、試験委員会委員長も務めMGRの周知、質の向上に貢献した	1名
	佐藤 哲	永年にわたり医療ガス保安講習会の講師を務め、また講師育成にも尽力した	1名
	高澤 正樹	19年にわたり医療ガス保安講習会の講師を務めるほか、永年全国規模の715講習会の講師も務めている	1名
地域活動功労賞	林 豊	前身の医療ガス協会地域本部の設立に参画、以来保安・防災活動を牽引。阪神・淡路大震災時には医療用酸素を緊急手配、防災協定の早期締結に導いた	1名
	佐々木 康二	過去6年にわたり地域本部長を務める等永年地域本部運営に携り、草の根講習会の運営・講師を務め、災害時協定の締結、訓練参加を主導した	1名

(順不同・敬称略)

業務功労賞		災害功労賞	
在宅酸素部会(特別部会)		エネックスジャパン株式会社	
岸田遼生	元帝人ファーマ(株)	災害功労賞	
河島 修一郎	帝人ファーマ(株)	株式会社田沼酸素商会	
高嵩恒男	元テルモ(株)	災害功労賞	
牧野 昱	元フクダライフテック(株)	株式会社佐々啓	
原 浩一	エア・ウォーター(株)	災害功労賞	
高平進一	テルモ(株)	北良株式会社	
加藤文之	フクダライフテック(株)	災害功労賞	
大竹 清	(株)小池メディカル	東海地域本部災害時対策委員会	
古海敏恵	大陽日酸(株)	江場大二	(株)エバ
西坂 仁	エア・ウォーター(株)	大島康之	(株)大島商会
米山昌志	バイタルエア・ジャパン(株)	西尾 徹	静岡酸素(株)
山田英俊	日本特殊陶業(株)	伊藤洋司	中京医療(株)
石塚 公吉郎	東邦アセチレン(株)	松田 美智春	大陽日酸(株)
櫻井秀行	山陽電子工業(株)	岸 勝俊	中部エア・ウォーター(株)
安田 守	日本メガケア(株)	杉山智治	名古屋酸素(株)
林 達男	チャートジャパン(株)	高橋伸之	名古屋日酸(株)
岩亀 誠	ダイキン工業(株)	南部 淳	南部薬品(株)
三浦秀明	フィリップスレスピロニクス(合)	境谷武久	日本エア・リキード(株)
保安教育功労賞		長房英則	(株)原田商店
釘宮豊城	湯河原厚生年金病院長	出村憲二	大陽日酸(株)
保安教育功労賞		標準化功労賞	
佐藤 哲	カガク興商(株)	大村昭人	帝京大学医学部 名誉教授
保安教育功労賞		標準化功労賞	
高澤正樹	(株)千代田	医療ガス製造・充てん部会自主基準検討WG	
地域活動功労賞		伊達恒雄	(株)サイサン
四国地域本部		牧田啓吾	ティエヌメディカルエンジニア(株)
佐々木 康二	高松帝酸(株)	宇田川 雅弘	昭和電工(株)
地域活動功労賞		大岡光寿	岩谷産業(株)
近畿地域本部		森山秀樹	岩谷産業(株)
林 豊	浪速酸素(株)	三浦 亨	エア・ウォーター(株)
		西本敬輝	エア・ウォーター(株)
		平尾 浩二郎	大陽日酸(株)
		岡村和也	日本エア・リキード(株)
		木村 広	日本液炭(株)
		瓦井浩之	光酸素(株)

## 会員紹介 ー北越アセチレン株式会社ー

北越アセチレン株式会社は、富山県魚津市に製造工場を有し、製造した溶解アセチレンガスは福井、石川、富山、新潟の4県へ供給しています。

### 北陸3県におけるアセチレンガスの歩み

昭和29年 東海電極製造株式会社が富山県滑川市において製造を開始。

昭和32年 北陸アセチレン株式会社が富山県富山市において製造を開始。

昭和34年 中日本アセチレン工業株式会社が石川県小松市に設立され、  
昭和35年に製造を開始。

昭和38年 東海電極製造株式会社が直江津分工場を新設。

昭和40年 中日本アセチレン工業株式会社が武生工場を新設。

昭和42年 東海電極製造株式会社から東海産業株式会社に経営が移管。

昭和46年 東海産業株式会社、北陸アセチレン株式会社が製造を中止。  
同年、北越アセチレン株式会社が誕生する。

昭和49年 中日本アセチレン工業株式会社が溶解アセチレンガスの製造を  
すべて北越アセチレン株式会社に委託する。

### 北越アセチレン株式会社の設立

昭和41年頃から高度経済成長の歪みが顕在化し、原料の石油転換が進む中、市況の立て直しと製造部門の合理化を柱とした富山地区関係会社の合併により、昭和46年北陸アセチレン株式会社が母体となり弊社が誕生しました。

### 近年の動き

設立当初から日本カーバイド工業(株)魚津工場において発生し、清浄されたアセチレンガスのパイピング供給を受け、弊社にて溶解アセチレンガスを充填していましたが、魚津工場の設備老朽化に伴い、平成14年に弊社第2充填工場を解体した後、湿式による発生工場を新設しました。新設した発生工場は環境及び安全性、作業性を配慮した工場となっています。



新設した湿式による発生工場

### 今後の動き

弊社の容器管理は、現在手書きのような状態で行っていますが、JIMGAの指導の下、平成25年度内にRFタグを導入し、容器の安全管理を行いたいと考えています。

また、弊社は平成23年に創立40周年を迎えました。創立に携わった諸先輩方々へ感謝の気持ちを忘れず、原点に戻って弊社の会社精神「和」を大切に、今後も次代に向けた発展に努めて参ります。

(北越アセチレン株式会社・代表取締役 丹羽信嗣)

## 東日本大震災における被災者支援に対して厚生労働大臣から感謝状

一昨年発生した東日本大震災における被災者の支援活動等で貢献のあった全国1,458団体に、平成25年3月11日付で厚生労働大臣より感謝状が贈呈されました。JIMGAでは東北地域本部、兵庫県支部及び医療ガス部門本部に対し、感謝状が授与されました。

### 東北地域本部

宮城県では、県内で受賞した164団体に対して、宮城県庁内にて感謝状の伝達式が行われました。出席の受賞団体代表者に一人ずつ感謝状が手渡された後、宮城県保健福祉部長 岡部 敦 殿から、「東日本大震災では、いろいろな分野で被災者の支援活動をして頂き、ありがとうございました。被災から2年余りが経過しましたが、未だに県内では10万人以上の方々が仮設住宅での暮らしを余儀なくされています。まだまだやる事が多くあります。これからも皆様のお力添えを頂くことがありますので、今後とも変わらぬご支援を頂きますようお願い申し上げます」との挨拶がありました。

日 時：平成25年4月25日(木)  
場 所：宮城県庁2階会議室  
伝達者：宮城県保健福祉部長 岡部 敦 殿  
受取者：JIMGA東北地域本部長 坂本 雅博 氏



(左)坂本本部長、(右)岡部保健福祉部長

### 近畿地域本部医療ガス部門兵庫県支部

平成7年に阪神・淡路大震災を経験した近畿地域本部兵庫県支部は、東日本大震災の発生後いち早く医療用酸素を被災地に搬送するなどの支援を行ったことに対し、感謝状が授与されました。岡野支部長は「東日本大震災の支援活動に際して、兵庫県下の会員各社は阪神・淡路大

日 時：平成25年4月10日(水)  
場 所：(株)神戸サンソ本社  
伝達者：兵庫県健康福祉部健康局業務課 吉田課長 殿  
受取者：JIMGA近畿地域本部医療ガス部門  
兵庫県支部長 岡野 洋太郎 氏



(左)吉田課長、(右)岡野支部長

震災の際に受けた御恩をお返ししたい、そして被災地においても欠かすことのできない医療用酸素の安定供給のお役に立ちたいという一心で支援活動を行いました。その支部会員の思いが被災地や国に通じたと思うと、感慨もひとしおです。今後は災害時・緊急時にさらに迅速な対応ができる兵庫県支部を目指して参りたいと誓いを新たにしています。皆様方の一層のご支援・ご鞭撻を心よりお願いする次第です」とコメントされました。

### JIMGA 医療ガス部門本部

医療ガス部門本部にも4月17日に東京都庁業務課を通じて感謝状が授与されました。これを機に気持ちを新たに災害時における協定書の重要性を大いにアピールし、全都道府県との締結実現に向けて取組んで参ります。会員各位の益々のご理解とご支援をお願いいたします。

(医療ガス部門事務局・鈴木正晴)

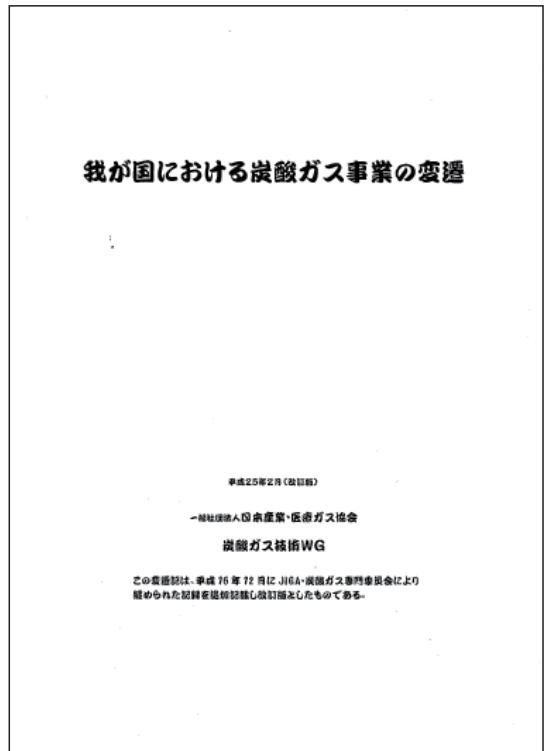


## 「我が国における炭酸ガス事業の変遷」改訂版発行について

炭酸ガスは長い間、飲料及び消火用が主な用途でしたが、昭和30年代、鋳造に使用する砂型の成形に炭酸ガスを使用するプロセスが普及したことで炭酸ガスの市場が拡大し、生産方法が大きく変化し始めました。その後、溶接の分野での使用が増加し、炭酸ガスの出荷量が飛躍的に増大しました。

その頃の業界の歴史を知る諸先輩の方々の引退が進みつつあった平成16年、我が国の炭酸ガス事業の記録を残すべきとの声が日本産業ガス協会（現JIMGA）炭酸ガス専門委員会（後の炭酸ガス分科会）内で挙がり、同委員会業務小分科会を中心に「我が国における炭酸ガス事業の変遷」を編集し、同年12月に完成しました。同冊子は平成17年6月に開催された炭酸ガス専門委員会定時総会にて、議案書と共に炭酸ガス専門委員会の指定代表者に配布しました。

炭酸ガスの業界も近年、会社の統合等や生産設備の建設・廃止という大きな変化がありました。昨年末、炭酸ガス技術WG事務局員の交代を前に、これらの大きな変化を記録することを目的に改訂版の編集を開始し、本年2月に「我が国における炭酸ガス事業の変遷」改訂版を発行しました。



表紙

主な改訂内容は次の通りです。

- ①平成16年10月以降の炭酸ガス事業の変遷を記載すると共に、各年の理解を深めるため、「世の中の動き」を併載。平成16年10月以前の記事を再チェックし、必要な加筆・訂正を実施。
- ②本文に記載した関係各社の変遷（インターネット等で調査）を別項目に記載。
- ③JIMGA炭酸ガス分科会（平成22年解散）の役員及び炭酸ガス技術WG委員の変遷を掲載。
- ④昭和27年以降平成23年までの液化炭酸ガス年間出荷量を表とグラフで掲載。
- ⑤生産拠点の一覧表を記載。

本冊子入手希望の方はJIMGA山本部長までお問い合わせ下さい。

（炭酸ガス技術WG長・越部 薫）

西暦	和暦 年月	概 要	炭酸ガス技術WG 世の中の動き
1853	嘉永5年	ペルリイロの製法が博覧に来朝、ラムネを露伴屋人に紹介した。	
1865	慶応元年	藤澤半兵衛氏国産第1号「レモン水」(ラムネ)を長崎にて販売。(レモネード→ラムネ)	
1872	明治5年9月	京都府の野石種大屋が山城園(兵庫橋)物産部で一種の炭酸水を開発した。 (石井研堂氏著「明治事物紀原」の中に、日本における天然炭酸水の発見とある)	全国戸籍調査 総人口3,480万6千人 東京城を皇居と池田 ラムネの製造許可 横浜2工場開設
1878	明治12年		オランダの愛知 地球儀東洋沖船員に 分一方便開設
1884	明治17年10月	兵庫県川辺郡多田村平野で(資)帝國炭酸(後のアサヒ飲料(株))が天然炭酸ガスの採取を始め、川久保久之郎はオーストリアの「ブルーウォーター」カンパニーを買収し三ツ矢平野水(炭酸水)を開発した。 橋本清三郎氏が大阪で初めてラムネの製造。 それ以前から「ラム十八番ラムネ」が開発一帯で愛飲されていた(シーム商会)。	日本鉄道上野-清瀬間 開通 コッパーが特別地場 清仏戦争開始 火薬取締規則公布
1886	明治19年		東京大学を帝國大学に 改称
1887	明治20年	ラムネ売でんじ「五ツラムネ」が普及(輸入)。	中央競馬台発足
1889	明治22年	横浜で鶴元己之助氏が「金剛サイダー」を開発。1875年(明治8年)の「日の出」に特されたブランドを、改称したのも。	大日本帝國憲法 皇室典 範 貴族院議員選挙公布
1890	明治23年	東京本洋汽水社が五ツラムネ瓶詰めラムネの製造・販売開始。 ラムネは長崎一特許一横浜と伝わった。	東京市誕生 第1回國體「デー」 「トキケル」号乗本沖運 帝國郵船創業
1893	明治26年	大日本人造肥料(後の日産化学工業(株))設立。	パナソニック 500万博開催 白根大蔵が海軍省から 陸軍省へ
1897	明治30年	平野水が後の大正天皇(明治12年生まれ)の御飲料に採用されたことが御座るとなる。 津山山越山(後の半田興産(株))設立。	足尾銅毒鉄鋼運動 京都帝國大学設立

中面の一部

## 本部事務所移転のお知らせ

JIMGA本部は、医療ガス部門、産業ガス部門のより一層の連携強化と業務の効率化を図るため、次のとおり事務所を移転することといたしました。従来、両部門は異なるフロアで業務を行っていましたが、新事務所では同一フロアで執務します。

### 【新住所・連絡先】

〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目8番13号 サクセス芝大門ビル4階

<医療ガス部門>

TEL：03-5425-1188（代表）

FAX：03-5425-1189

<産業ガス部門>

TEL：03-5425-2255（代表）

FAX：03-5425-2256

【業務開始日】 平成25年7月1日

